

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付: 2020年5月14日

事業ID: 2018485725

事業名: 鳥取県鳥取市における第三の居場所の運営

団体名: 特定非営利活動法人こどもらぼ

代表者名: 岡 武司

TEL: 070-3789-4565

事業完了日: 2020年3月31日



事業費総額	18,153,365円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	365円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	18,153,000円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
繰越金収入	10,959,661円	
助成金返還見込額	16,806,296円	(収支計算書の青のセルの値)

1. 事業内容(実績。700文字以内):

鳥取県鳥取市における第三の居場所(以下、鳥取拠点)の運営

時期: 2019年4月～2020年3月

場所: 鳥取県鳥取市

対象者: ①鳥取市要保護児童対策協議会で、本拠点で支援が妥当だと判断された、対象小学校に子どもを通わせている家庭。

②鳥取市就学援助制度を受けている家庭で、本拠点での支援が必要だと鳥取市教育委員会より判断された、対象小学校に子どもを通わせている家庭。

③鳥取市児童扶養手当制度を受けている家庭で、本拠点での支援が必要だと鳥取市こども家庭課より判断された、対象小学校に子どもを通わせている家庭。

内容: ①鳥取拠点において学校課業日は13時から20時まで開所した。放課後から夕刻まで、上記の子どもたちを対象として学童保育を運営した。デイリープログラムに則って、学習、遊び、食事、休息、シャワーといった子どもたちの放課後から就寝前までの規則正しい生活づくりを行った。

②学校休業日は、普段経験できない文化・スポーツへの体験活動を企画し、子どもの豊かな経験を保障した。そうした活動に興味や関心が向くよう、普段から図書館や博物館などの文化施設、スポーツ施設に慣れ親しむ機会をつくった。

③鳥取市要保護児童対策協議会に参画して、そこでの議論に基づいて鳥取拠点での保護者への支援を検討し、保護者への具体的な生活支援、子育て支援を展開した。

2. 事業内容詳細:

① 常勤スタッフの退職に伴い、2020年1月からは土曜の運営を中止、平日のみの営業で対応することとなった。スタッフの募集については鳥取市こども家庭課に協力を依頼し、専門性を持った職員を確保すべく働きかけを行っている。

利用児童の生活づくりについては、家庭の抱える大きな問題を解決する必要性が生じたため、児童相談所と連携して保護者に働きかけを行い、保護者の養育に対する意識を変化させ、家庭生活の質を向上させることができた。

- ②今年度は、拠点での取り組みが家庭に還元されることを期待して、県内の施設を中心に体験活動を行った。5月のゴールデンウィークには、保護者とともにUSJ体験旅行を行い、普段はできない体験を親子で楽しむ時間を提供した。また、体験活動を通じて明らかになった子どもや家庭の課題について共有し、その後の拠点や家庭での生活に活かすことができた。
- ③利用児童の生活環境に重大な問題が発生したため、要保護児童対策協議会の個別支援会議の開催を依頼した。会議では、対象児童の拠点での生活の様子とそこから把握した家庭での生活の様子を詳細に伝える役割を担い、その後の支援方針決定の中心的役割を果たした。

3. 契約時事業目標の達成状況:

【助成契約書記載の目標】

- ①拠点利用児童の募集
- ②利用児童への居場所、読み聞かせ、学習支援及び食事などの提供
- ③利用児童保護者との関係構築とニーズに応じた生活支援の提供
- ④対象校との連携強化と児童及び家庭に関する情報共有
- ⑤自己肯定感を養うためのライフスキルプログラム等の実施
- ⑥利用児童及び保護者へのアンケート調査
- ⑦要保護児童地域対策協議会への参画及び拠点における家庭支援計画の策定

【目標の達成状況】

①の達成状況

鳥取市子ども家庭課と連携して、児童の募集を行った。4月に1世帯2人の申し込みがあったが、体験利用のみで、正式利用にはつながらなかった。10月には児童相談所から1世帯1人の紹介があり、週3日という形での利用が決まった。12月には学校、鳥取市子ども家庭課への問い合わせにより1世帯1人の施設見学を行い、利用の意思を確認したが、その後の連絡が途絶えている。この世帯については、鳥取市子ども家庭課が継続的に家庭訪問を行い、利用につながるよう働きかけを継続して行っている。

7月からは、毎週火曜日に鳥取拠点内で子ども食堂を開催し、独自に新規利用者を拡大しようと努めた。対象校の児童の参加もあり、個別に保護者への説明を行ったが、利用者の拡大には至らなかった。

11月には児童相談所から対象校に通う児童1人の利用を打診され、面談の結果、月、水、金の週3日間の利用となった。

3月に近隣保育園へパンフレットを持参し、対象世帯への配布をお願いしたところ、1世帯の利用申し込みがあった。

来年度は、5人の利用が確定している。

②の達成状況

読書に対して抵抗感を持つ児童が多く、自ら本を手にとることが非常に難しい。低学力により文字を読むことへの拒否感があるように思われるため、宿題の音読を教科書ではなく絵本に変えるなどして、本に親しむ機会をつくった。また、県立図書館に行って本を借りる取り組みを継続し、本に触れる機会を増やす取り組みを行った。

利用児童ごとに個別の指導計画を作成し、支援を行った。学習面で困難を抱えている児童が多いため、宿題を終わらせることを最優先とし、長期休業中の課題についても、児童と一緒に計画を立

て、予定通りに終わらせることができるよう努めた。

学習障害が疑われる児童に対して、学校での知能検査実施を打診したが、実現しなかったため、「とっとりこども学園」に協力を依頼し、拠点独自でWISCを取るなどの取り組みを行った。WISCの結果を拠点での取り組みに活かすほか、学校での児童の不安や負担を軽減させるための働きかけを行っていく予定である。

拠点の安全管理については、地震、不審者対応の避難訓練をそれぞれ行った。

③の達成状況

年間10号の通信を発行し、鳥取拠点での生活の様子を家庭に届ける取り組みを行った。当初は児童、保護者ともに警戒感からかあまり家庭のことを話しながらない様子であったが、関係ができてくるにつれて学校での様子、家での様子を話してくれるようになり、生活状況を細かく把握することにつながった。

拠点での生活から、家庭環境に大きな問題があることが発覚し、児童相談所、要対協と連携して生活支援を行った。また、市の事業を利用して家事支援や市営住宅の情報提供を行い、生活状況を改善させることができた。

④の達成状況

お迎え時に先生との会話の中で情報を共有したり、必要に応じて学校での児童の様子を連絡してもらったり、拠点での様子を報告したりと、良好な関係を築くことができた。また、要対協の個別支援会議や、児童相談所との細かな連携を通して、定期的に関係機関と情報共有することができた。

⑤の達成状況

②で述べた個別の指導計画に従って、利用児童の個別の発達を促すための取り組みを行った。具体的には、自己肯定感や認知機能の低さから、物事に消極的であったり、興味関心を持って取り組み始めたことであっても途中であきらめてしまい、最後まで取り組むことができない児童に対して、取り組みの難易度を下げたり、協力体制を作って取り組ませるなどの配慮を行った。

また、拠点での生活の中で、洗濯や掃除、食事の片付けなどをこどもが分担して行うようにし、家庭での生活能力の向上を図った。

来年度からは2月の日本財団の研修で紹介された「コグトレ」を利用して、全児童のライフスキルを向上させるため、年間の実施計画を作成した。

⑥の達成状況

利用全世帯の保護者に向けてアンケート調査を行った。鳥取拠点の運営については全保護者から好意的な解答を得ることができた。一方で、拠点での生活が家庭での生活の変化につながっていない現状も見られた。

利用児童との面談では、「休みの日でも鳥取拠点に行きたい。」という声も聞かれ、子どもたちの心の拠り所として、「第3の居場所」の機能を十分に果たすことができた。

⑦の達成状況

今年度は計5回の要対協に参加した。いずれの会議においても、情報量、支援内容ともに鳥取拠点を中心的な役割を担っており、子ども・家庭支援の方向性を積極的に提案することができた。また、鳥取拠点の重要性を広く認知してもらう契機となった。

家庭支援計画の策定までは達成できなかったが、要対協、鳥取市こども家庭課、児相と連携して家事支援を行い、鳥取拠点利用者の生活の立て直しに向けた道筋をつけることができた。

4.事業実施によって得られた成果:

- ・拠点での生活を通して把握した家庭の問題を解決するために、児童相談所、要対協と連携して家庭支援を行い、状況の大きな改善につなげることができた。
- ・上記の取り組みを通して、鳥取拠点の意義と重要性を関係諸機関に認知してもらうことができた。

5.成功したこととその要因:

特になし

6.失敗したこととその要因:

特になし

7.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案:

- ・生活状況が深刻な世帯が多いため、行政の協力を得ながら家庭の支援に向けた体制を作る。
- ・拠点での生活を通して、自身の生活を見直す機会をつくるための取り組みを行う。

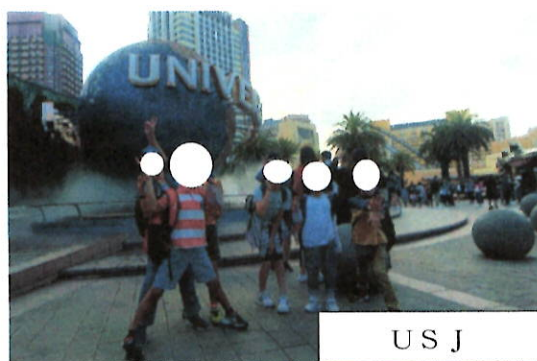
事業成果物:
【成果物の名称】



動物園



紙漉き体験



US J



さジアストロパーク



シーカヤック



デイキャンプ



ハロウィン



クリスマス

【成果物がアップロードされているCANPANのURL】

http://nippon.zaidan.info/jigyoo/2019/0000093881/jigyoo_info.html